

平成23年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

## 青少年交流の家フェスティバル

### 1. ねらい

明るい地域づくりの一拠点としてフェスティバルを開催し、地域住民の交流を図る。多くの地域住民の参加を得て、青少年の健全育成のための施設である「国立大洲青少年交流の家」についての理解を促進することを目的とする。

また、平成23年10月が「青少年体験活動推進月間」であることから、「体験の風をおこそう推進月間」の行事として子どもや保護者を対象に、自然体験や生活体験等に取り組む「子ども体験遊びリンピック」を同時開催する。

2. 実施日 平成23年10月22日(土)

3. 場 所 国立大洲青少年交流の家

4. 参加者数(来場者数) 3,744名

### 5. 内 容

- 展示コーナー 市内小中学生美術作品展 華道展 陶芸展 交通安全パネル展  
愛媛県内社会教育施設展  
愛媛大学ミュージアム出張展示「世界の昆虫がやってくる」  
八幡浜保健所関連展示〈献血コーナー〉
- 体験コーナー クライミング 茶道 昭和の遊び シャボン玉作り ユニカール  
スタンプラリー
- パフォーマンスコーナー  
大洲少年少女合唱団 大洲南中学校吹奏楽部 愛媛県警察音楽隊  
大洲農業高等学校吹奏楽部 OZU遊びリンピック小学生スリッパとばし大会  
小学生Xロープバトル選手権大会
- 出店コーナー 大洲コロッケ 野菜 花苗 手作り作品 海産物 アイスクリーム等販売



今年度も大洲市の科学体験フェスティバルと同時開催で実施した。

定番の展示や体験コーナーはもちろんのこと、OZU遊びリンピック小学生スリッパとばし大会をはじめ、市内小中学生美術作品展や、愛媛大学ミュージアム出張展示の「世界の昆虫がやってくる」などの企画も多くの人で賑わっていた。また、パフォーマンスコーナーでは大洲農業高等学校吹奏楽部が数年ぶりで出演し、見事な演奏を披露していた。

今回は、前日の準備段階から天候が悪く、出店場所を急遽ふれあい広場から武道場に変更するなどして実施したが、たくさんの来場者で大いに盛り上がった一日となった。